

神里 達博 千葉大学 大学院国際学術研究院 教授／同 総合国際学位プログラム長

〈専門分野〉 科学技術社会論／科学史／リスク論

「ゲノム合成」に関して、最も関心のある/重要と考えるテーマ・論点・事象など

- 基本的なことだが、やはり公共的な利益に適うものであること、将来世代に対するものも含めての社会に対する研究者の責任、ベネフィットやリスクの扱いについての公平性などについて、パブリック・エンゲージメントの経路をさまざまに確保しながら考えていく必要があるのではないか。

ご自身の最近の活動として、最も関心のある/あるいは周囲でホットなテーマなど

- 日本でなぜ今、“ELSIブーム”が来ているのか。それを行政や企業、研究者は、どういうものだと理解しているのか。また日本のELSIブームは、ブームに終わらず定着するか否か。

〈活動紹介〉

- 神里達博, “ELSIの誕生—その前史と展開—”, IEICE ESS Fundamentals Review., 15(4):318, 2022.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/essfr/15/4/15_318/_article/-char/ja
- 神里達博 「リスク時代における行政と専門家」, 村上陽一郎編 『「専門家」とは誰か』 晶文社, 2022.
- 朝日新聞紙面 「月刊安心新聞プラス」を連載中(2014-)
<https://www.asahi.com/rensai/list.html?id=375>
- その他：朝日新聞客員論説委員(2014-)／JST・RISTEX 運営評価委員会委員(2017-)／日本学術会議連携会員(2020-)／NHK放送技術研究所 研究アドバイザー(2021-)／防災科学技術研究所 社会的期待発見研究推進委員会 委員(2021-)